

火災への備え

大きな火災も1軒1軒の備えで防ぐことができます

大きな火災も、原因は1軒の火の消し忘れなどによるものがほとんどです。火事は、個々の防火意識や初期消火の対応などにより被害を防止することができますので、火事に備えておきましょう。

1. 自宅でできる防火対策

①火災を感知する

火災発生時の逃げ遅れを防ぐため、平成18年(2006年)に全ての住宅について火災報知器の設置が義務付けられました。設置から10年以上経過している報知器は劣化に取り換えが必要ないか点検が必要なので、必ず点検をしましょう。



火災報知器

②自宅の防火対策をチェックしましょう

右のチェックリストで防火対策のチェックをしましょう。
その他、防災カーテンやカーペットへの切り替えや、火災発生の原因となる配線回りの整理なども有効です。

自宅の防火設備チェックリスト

- 消火器を設置している
- 消火器の使用期限が過ぎていない
- 火災報知器を設置している
- 火災報知器のテストをしている
- 漏電遮断器をテストしている

2. 初期消火の基礎知識

火事になってしまった場合でも、初期消火をすれば大きな火災になってしまうことを防ぐことができます。いざという時に初期消火ができるように備えておきましょう。

①消火器の設置

消火器は水や湿気が少ない場所にしましょう。
通常の消火器が重くて使用が難しい場合は、エアゾール式簡易消火器などを備えておきましょう。



粉末消火器



エアゾール式簡易消火器

②初期消火の方法

初期消火は以下の手順で行います。

①火事を知らせる



②初期消火をする



③現場から逃げる

